



## 第50回 盛岡市社会福祉大会

### □ 山田町 大沢小学校児童「大沢虎舞」躍動！ □

- ◆ きのう25日、岩手県民会館大ホールで開かれた第50回盛岡市社会福祉大会（主催 盛岡市社会福祉協議会ほか）のオープニングアトラクションにおいて、山田町立大沢小学校の5・6年生全員33名が、同町大沢地区に古くから伝わる郷土芸能「大沢虎舞」を披露されました。  
この虎舞は、近松門左衛門の浄瑠璃「国姓爺合戦」の一節にある大虎退治に由来するといわれます。掛け声や太鼓、てんぴら鉦のお囃子も賑やかにステージいっぱいに元気に舞う子供たちに、参加された約1,500名の市民の方々からは大きな声援が送られました。また、隈取りも鮮やかな物語の主人公が大虎を退治する場面で、口上とともに大見得を切る演技には会場全体から一斉に拍手が沸き起こりました。
- ◆ 今回の公演は、被災地山田町の子供たちから元気を発信してもらおうと、大会実行委員会が招いたもので、学校さんのご配慮とご協力をいただき実現したものです。この日は、大久保裕明校長先生ほかご指導の先生方が来られたほか、ご家族の方々も応援で見えられました。



- ◆ 演技終了後には、子供たち全員から「今年は震災のため運動会ができませんでした。今回、発表の機会をつくってもらってうれしいです。盛岡や全国の方々からの支援や励ましに感謝しています。僕たちの虎舞を見ていただいてありがとうございます」とお礼の言葉がありました。盛岡の人たちは、大沢小学校の子供たちから大きな感動と元気をいただきました。

